時に、西暦2022年

kakobetuniyomanakutiyo
kono kogassuki
たけのこ
里と山、
勝つのはどちらか
「好きってことさ」
美味い
明治
「美味しかったら どっちでもいい」
「どっちも美味しいじゃダメなのか」
bisukettonokotokukki-tteyobuyatuha
somesotakenokohassikkakudatoomou
「クッキーの方が美味しい」
「チョコのバランスが最高」
「クッキーと偽りの幸せ」
戦い
「サクサクしてて美味しいから」
サクサク
意味
きのこ
「手を汚してまで食べたいのか？」
「持ちやすい上に食べやすい」
「手を汚さずに食べられる」
『たけのこを、味わってる？』
別々で味わえる
『明らかに美味しい』
絆
「人気なんだから美味しいに決まってる」
『チョコとクッキーが

『くだらない争いをいつまで続けるのか』
なんて最初からなかったんだよ
「チョコが多い方が美味しい」
himekousinbunn,70gou

アンケート特集
たけのこの里 VS きのこの山

今回、新聞部としては初の試みであるアンケートを行なった。明治のチョコスナック、「きのこの山」「たけのこの里」どちらが好きかというアンケートである。

たけのこ派、きのこ派のアンケート調査にご協力いただいた皆さんありがとうございました。集計結果が出たので発表する。一年生はたけのこ派69人、きのこ派44人、どちらでもないは18人でした。続いて二年生はたけのこ派105人、きのこ派63人、どちらでもないは12人となりました。三年生はたけのこ派104人、きのこ派56人、どちらでもないが21人でした。よって、姫路工業高校では、たけのこの里好きが多いということがわかった。

選んだ理由をいくつかご紹介したい。きのこの派では「チョコだけ舐めて、後でビスケットの部分だけ食べられておいしいから」「持ちやすい」「クッキーとチョコと分けて食べられるから」

一方人気だった、たけのこ派は、「きのこはチョコが多すぎる、たけのこが丁度良い」「きのこの山のように箱の中で折れてしまうようなこともないし、見た目が良い」「クッキーがたけのこの方がおいしい」というもの。

さて、皆さんいかがだろうか。さまざまな意見があるとは思うが、少しでも興味を持ってくれたのなら嬉しい。また、たけのこの里やきのこの山を購入する際には、ぜひこの記事のことを思い出してほしい。

（3D　山田）

姫工新聞

発行所
兵庫県立姫路工業高等学校
姫路市伊伝居600番地1
（079）284-0111
編集発行
新聞部
編集責任者　小畑 咲良

クラスのすごい人

上のアンケートと同時に行った「クラスで一番すごい人」という内容のアンケートの結果。名前が挙がってきた人にインタビューしてきた。

まず筋肉がすごいという理由で多く名前が挙がっていたのは1M1前田悠樹さん（太子西中）。バレーボール部に所属しており、練習でついたそうである。主にベンチプレスを行うとのこと。

次に、基礎製図検定満点を取ったという理由で多く名前が挙がっていた2W安本陽希さん（双葉中）。製図は得意科目だそうだが、苦手な問題もあるそうだ。どのようにして満点を取ったか聞いてみると、特にこれといった特別な勉強法を行っているわけではないと言っていた。

成績がクラスでトップ、運動も得意という理由で多く名前が挙がっていた2M2佐々木亮哉さん（大的中）。世界史が得意な佐々木さんにトップの秘訣を尋ねると、授業の内容をしっかり聞いて、課題などでわからない事があれば、分かるまで、きっちり解くのだそうだ。部活動はサッカー部に所属しているとのこと。

ボクシングをしているという理由で名前が多く挙がっていた3R小川義紀さん（城乾中）。小川さんは小学2年生の頃からボクシングをしており、親に無理やりやらされたのがきっかけだそう。好きなボクシング選手は、井上なおや選手とのこと。

（2D　小林）

あひるの仔

高校生ものづくりコンテスト
化学分析全国大会出場

11月に新潟県で催された第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会（化学分析部門）に出場した3Cの岡田源太さん（別府中）彼が出場した化学分析部門は2時間30分の間に3つの液体を測定し、安全・実験マナー・分析技術・測定精度などが厳密に審査される。報告値が0・01mmズレてもいけないという実にシビアな世界だ。そんな中彼は、近畿大会で優勝を果たし全国大会に出場した。最初は制限時間に間に合わず、毎日練習に取り組んだ。その結果、全国大会にまで出場できたのだという。そんな彼は後輩達に「何事にもチャレンジし努力すれば、無駄にはならないということを伝えたい」と教えてくれた。

このような厳しい競技で全国8位という結果を残し「敢闘賞」を獲得した彼に賞賛を送りたい。（3D　小畑）

▶競技の様子

3C　岡田 源太さん

あひるの仔

技能五輪全国大会出場

第60回技能五輪全国大会へ出場した2Wの岡瑞稀さん（山陽中）。彼が出場した溶接部門は、午前と午後の計4時間の間にテストピース2セット、水圧容器、ステンレスとアルミニウムの箱を溶接するというもの。1ケ月前から、午後と午前の部のテスト内容を分けて練習したり、休日もずっと練習したりするなど、私たちの予想をはるかに超える量の努力をしていた。そんなに練習してしんどくはないのかと聞くと、「僕は楽しい」と笑顔で答えてくれた。

インタビュー時「今までの練習を大会でどれだけ出せるかが大事。普段通りを出せるようにしたい。」と意気込んでいた。

現在、彼が所属する溶接技術部の技能五輪班は彼一だけである。溶接に興味があり、溶接を極めたい、自分の力を試したいという方は入部してみては如何だろうか。

（3D　小畑）

▶競技の様子

2W　岡 瑞稀さん

ごーごーしんぶんぶん

12月16日、野里商店街にあるうどん屋さん「麦（バク）」に行った。民家を改装して作られた雰囲気の良いお店だった。そこでは一般的な出汁うどんをはじめ天ぷらうどんやかきたまうどん、うどんすきなどのメニューがあり、そのほか天ぷらの単品や炊き込みご飯、コロッケなどのメニューも豊富だった。店の奥には扉があり、奥に進むとそこにボタンが敷き詰められたおしゃれな空間があり、そこに小さなお店があった。そこでは、干し芋などの販売もしていた。レトロな感じの雰囲気を味わいたい方はぜひ訪ねてほしい。

（3D　黒田）

沈思黙工

12月になった。期末テストも終わり冬休みの後にはもう修学旅行だ。毎日忙しく過ごしている。現在新聞部は一年生の部員が一人もいない状況だ。私が入部した当時も部員数は少なく常時部員募集中旅行だった。▼新聞部では、難しい文章を書かなければならないと思われるが、実際には、「好きなお菓子のアンケート」「クラスで一番すごい人」の記事など面白い記事も多い。他にも「ごーごー新聞部」で行きたい場所へ取材として行くこともある。自分達の行きたい場所に行けるので、活動こともある行きたい活動は楽しい。▼新聞部へ入部してくれた際には、部員として助け合っていきたいと思う。

（2D　沼田）

この頃一気に寒さがやってきた。もうすぐ2学期が終わり、だんだん年末も近づいている。▼みなさんはどのように2学期を過ごしただろうか。イベントといえば、まず姫工祭だろう。去年は一般の方を除き1日のみの開催だったが、今年は一般の方も招いての2日間の開催だった。3年生の食品バザーが無くなったのは残念だったが、本当に楽しい姫工祭だった。来年こそ、いつも通りの姫工祭が開催できればと願っている。▼冬休みが終わると3学期に入り、すぐにひとつ上の学年になる。来年は3年生になるので、進路についてもしっかりと考えなければならない。気を引き締めて、悔いの残らないよう1日1日を大切に過ごしていきたい。

（2D　福岡）

（参考）　M機械　E電気　C工業化学　Dデザイン　W溶接　R電子機械